

主催:「看護職者のための糖尿病女性のリプロダクティブヘルスに関する支援マニュアルの開発」研究班  
共催:特定非営利活動法人日本 IDDM ネットワーク (主任研究者 田中佳代)

糖尿病を持つ女性は、女性ホルモンや妊娠に関連したホルモンが血糖値に影響を及ぼすため、月経周期や妊娠・出産の状況に応じて血糖をコントロールすることが必要になります。しかし、糖尿病女性の性や妊娠・出産に関わる支援システムはまだ十分整備されておらず、糖尿病女性は相談できる場や機会がなく悩みを抱えている現状が私達の調査で明らかになっています。糖尿病を持つ女性の性に関わる生活と妊娠・出産がより良くあるための支援にはどのようなことが求められるのでしょうか？

今回は、女性の看護職者の皆さんと 1 型糖尿病を持つ女性が、糖尿病女性の性や妊娠・出産に関して思っていること、1 型糖尿病女性が看護職者に期待されることを、共にざっくばらんに語り合うことで、これからの 1 型糖尿病を持つ女性の性と妊娠・出産に関する看護・支援をより良いものに変える力に繋げていきたいと思っております。是非、ご参加ください。

**平成 21 年 10 月 17 日 (土) 10:00~16:00**  
**ホテルリステル新宿 2階 「かすみ」 9:30 開場**  
(新宿区新宿 5-3-20 TEL03-3350-0123 <http://www.listel.co.jp/> )

**1 型糖尿病を持つ女性と看護職者のためのセミナー**  
**「共に語ろう糖尿病を持つ女性の性と妊娠・出産**  
**～糖尿病女性が、看護職者が、思うこと～」**

\* 本セミナーは日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位(2 群看護 2 単位)を取得予定です。

- 対象:** 1 型糖尿病を持つ女性もしくはそのお母様 20 名 (先着順)  
女性の看護職者 (看護師・助産師) 20 名 (先着順)
- 内容:**【午前】・講演 ①1 型糖尿病女性の性や妊娠・出産の現状  
②1 型糖尿病と妊娠・出産の実際  
③妊娠・出産経験を通して思っていること、感じていること  
・参加者同士のおしゃべりタイム  
【午後】・1 型糖尿病を持つ女性・お母様と看護職者のグループディスカッション  
・講演 ④1 型糖尿病女性と妊娠・出産～小児科医師として伝えたいこと～
- 講師陣:** 久留米大学医学部看護学科 講師 田中佳代  
杏林大学病院看護部長・助産師 福井トシ子氏  
出産経験のある 1 型糖尿病女性  
武居小児科医院 院長 武居正郎氏
- 参加費:**参加費:1 型糖尿病女性・家族 500 円(日本 IDDM ネットワーク会員の方は無料)  
看護職者 1000 円

【申し込み方法】氏名・所属(医療機関名など)・職種・連絡先(住所・TEL・FAX・E-mail のいずれか)をご記入の上、E-mail、FAX、または郵送にて下記までお申し込み下さい。

久留米大学医学部看護学科 母性看護学 田中佳代 〒830-0003 福岡県久留米市東櫛原町 777-1  
久留米大学医学部看護学科 FAX 0942-31-7715 TEL 0942-31-7714 E-mail:m2a2k2i2@med.kurume-u.ac.jp

☆☆☆ 2009 年 10 月 17 日(土)1 型糖尿病女性と看護職者のためのセミナー申込書 ☆☆☆

(ふりがな) 氏名		住所	〒 -
所属	所属科( )	E-mail	
職種	保健師・看護師・助産師・他( )	TEL・FAX	

\* お預かりした個人情報、当研究班及び日本 IDDM ネットワークからの連絡にのみ使用し、ご本人の承諾なしに第三者に提供することはありません。